



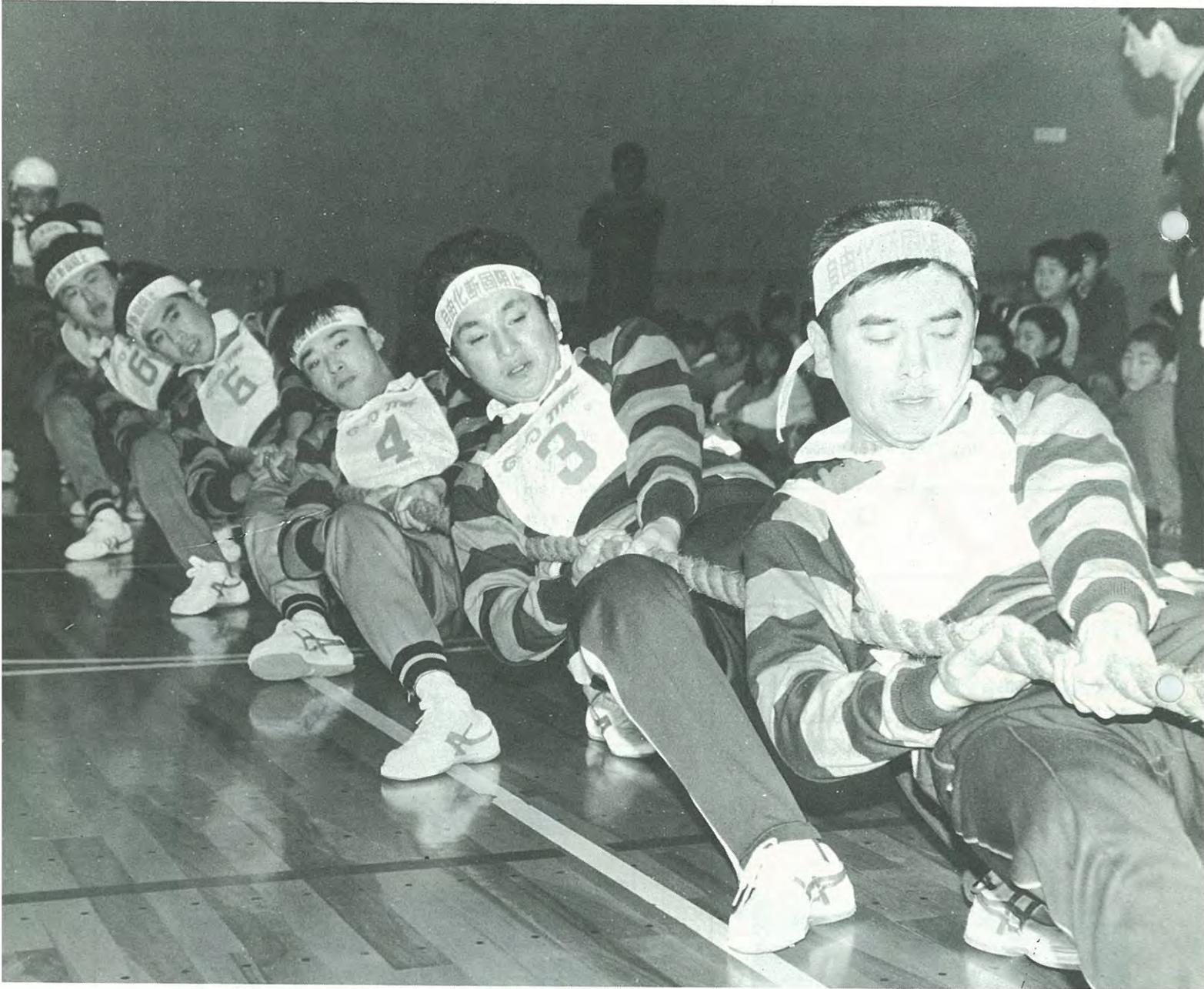
まくべこ

わたしたちのまち

(昭和62年11月1日現在)

人口	21,705	(-6)
男	10,609	(-1)
女	11,096	(-5)
世帯数	6,676	(+2)
一人のうごき (10月中)	-	
転入	52人	転出 66人
出生	21人	死亡 13人

||||||| 生きる喜びを創造するまち・幕別町 (新総合振興計画) |||||



呼吸を合わせて、ヨイショ!

町体育連盟の設立30周年を記念した第1回全町綱引き大会が11月29日、農業者トレーニングセンターで行われました。大会には小学生の部から一般の部まで18チームが参加。綱引きという一見単純そうな競技ですが、いろいろな戦法や技術があり奥の深いスポーツとか。しかし、一番大切なのはやはりチームワークでしょうね。

62年 12

No.431

り返って

師走の街は慌ただしさを迎え、昭和62年も残すところあとわずか。皆さんにとってこの1年はどんな年でしたか。私たちの町にもいろいろなことがありました。この1年を振り返ってみました。

ークゴルフ場オープン(4・29) ●白人小学校で開校90周年を記念してこいのぼり集会(5・2)
●春の一日を楽しもうと第3回芝桜まつり(5・24) ●運動公園ソフトボール場ナイター施設オープン(6・14) ●盛大にあかしや公区創立10周年記念式典(6・21)



町民会館で行われた町議会議員選挙の開票

(8・14~16) ●横路知事が来町しパークゴルフを体験(8・22) ●国際パークゴルフ協会が設立(8・22) ●7カ国から195人が参加して遊び心いっぱい第1回パークゴルフ国際大会(8・23) ●町民文芸誌「まくべつ」第3号が発刊(9・21) ●明野ヶ丘公園最後の芝桜植栽に80人が参加、5年間で2万5千株を植栽(9・26)



小雨が降る中で行われた最後の芝桜植栽

夏

7~9月

冬

1~3月

●住民登録などの電算化スタート(1・6) ●防火の決意も新たに町消防団出初め式(1・7~9) ●町営明野ヶ丘スキー場がオープン(1・11) ●234人が大人の仲間入り、成人式(1・15) ●国鉄広尾線の廃止に伴い依田駅が29年間の歴史に幕(2・1) ●町の氷室型農産物貯蔵庫を一般公開(2・9) ●スポーツ大笑の珍プレーに大爆笑、第5

回冬まつり(2・15) ●食生活、健康そして文化を考える、をテーマに第6回婦人まつり ●町民芸術劇場の主催で第1回サロンコンサート(3・5) ●お年寄り6人が幕別温泉ホテルで1日支配人を体験(3・8) ●活発に意見交換、第10回明るい町づくり住民大会(3・8) ●82年間の歴史に幕、新和小学校閉校式(3・20) ●文化・スポーツ奨励賞表彰式(3・27)

「スポーツ大笑」大爆笑をさそった冬まつりの



四百人の婦人でにぎわった婦人まつり

今年を振

'87まくべつ



20,000人が実りの秋を満喫した第10回産業まつり

春

4～6月

●長旅の無事を祈りサケの稚魚放流式(4・5) ●町長、町議会議員選挙執行。町長選挙は無投票で林町長が2期目に、町議会議員は現職17人、新人7人、元2人が当選(4・26) ●町内各地のパ



途別川の吐月橋で行われたサケの稚魚放流式

●秋晴れのもと、2万人が繰り出して第10回産業まつり(10・4) ●日本で初めてのサケの川釣り、サーモンダービーに全国から94人が参加(10・7～11) ●開町記念マラソン大会に400人が力走(10・10) ●4年の歳月と10億円を投じた猿別水門が完成(10・14) ●学習の成果を大いに発揮、第1回しらかば大学祭(10・14) ●幕別小学校開校10周年記念式典(10・25) ●

盛大に第3回札幌幕別会総会(10・30) ●札幌南小学校開校10周年記念式典(11・8)

●幕別と音更を結ぶ十勝中央大橋連結(11・9) ●132頭が出品して初の全道繁殖・肥育馬共進会(11・12) ●思いやりの心が広がった第6回ふれあい広場(11・15) ●思いは古里幕別に、第4回東京幕別会総会(11・21)

秋

10月～12月



自然のだいご味を満喫した猿別川のサケ釣り

四百人が力走した開町記念マラソン大会



●農業委員選挙執行(7・2) ●西町第1公区が創立10周年を迎え記念式典(7・12) ●故前田秀一さんに勲五等瑞宝章(7・15) ●札幌河川敷ゴルフ場の造成・運営母体となる株式会社幕別町地域振興公社が発足(7・15) ●札幌駅前商店街の活性化に一役、JR札幌駅舎に店舗がオープン(7・22) ●今年もジャンボカレーが登場、サマーカーニバル'87(8・1,2) ●幕別と札幌で盛大に仮装盆踊り大会



ジャンボカレーが人気を集めたサマーカーニバル'87

61年度決算の概要

まちづくりに使ったお金

町民一人当たり38万円

昭和六十一年度の決算と、本年度予算の四月から九月までの上半期の執行状況がまとまりました。

六十一年度は、町民一人当たり六万四千二百円を納めていただき、一人当たり三十八万四千七百五十八円の仕事をを行いました。『財政』といえますと、「難しい数字はどうも」という方も多いと思いますが、この決算などの公表は、町民の皆さんに、町のお金がどのように使われ、運営されているかを理解してもらうことが目的です。私たち二万一千六百九十七人の家計簿といえるものですので、よくご覧いただきたいと思えます。

一般会計

町に入ったお金(歳入)は、前年度より六億九千五百八十一万七千円の増で、八十三億七千五百二十五万五千円に。仕事に使われたお金(歳出)は、前年度より七億二千八百一十一万六千円の増で、八十三億四千八百四十万四千円でした。差し引き二千七百十五万一千円の黒字となりました。そのうち財政調整基金に一千五百万円の積み立てをしましたので、実質繰越額は一千二百十五万円となります。この決算額は、歳入、歳出とも六十年度を上回りました。

歳入

図-1の歳入(財源の構成状況)を見てみると、町民の皆さんが納めた町税は、全体の

一六・六%となっています。町民一人当たり六万四千二百円の負担で三十八万四千七百五十八円の支出をしたことになり、町税収入の約六倍もの仕事をしたわけです。

なぜ、六倍もの仕事ができるのでしょうか。そのからくりは、他方交付税や補助金などの国や道からのお金や町債という借入金です。これらは「依存財源」といい、町税のように町が自分で集めて自主的に使えるお金を「自主財源」といいます。

●各会計別の決算

(単位：千円)

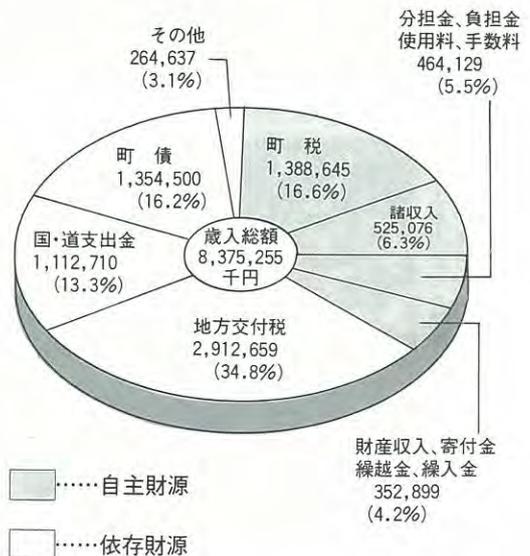
一般会計	8,375,255	8,348,104
特別会計	3,889,069	3,873,030
公営企業会計	554,337	529,965

※各会計とも、グラフ上段が歳入、下段は歳出。

幕別町の自主財源は三二・六%で、残りの六七・四%は国や道、借入金などに依存しています。ここに地方財政の厳しさが見られます。もう一度、図-1を見て下さい。依存財源の中で地方交付税(二四・八%)に次いで町債(一六・二%)の多いのが目につきます。昭和六

●図-1 歳入(財源の構成状況)

(単位：千円)



十一年度で十三億五千四百五十万円の借金を合わせたわけで、それ以前億八百九十七万円あまりの借金があります。(図-1)「こんなに借金があつて町の台所は大丈夫か?」と心配される方もあるかも知れません。しかし道路、学校、公園、上下水道などの建設は多額の経費が必要です。これらの施設は半永久的なものですから、将来、その恩恵を受ける町民にも建設費の一部を負担してもらつてよいと考えられています。

●表-1 超過負担の主なもの (単位：千円)

事業名	負担率	補助対象額	補助基本額	補助金額	超過負担額
農業委員会費	1/10	19,700	10,885	10,885	8,815
肢体不自由児 通園訓練施設費	1/10	19,929	17,409	17,409	2,520
保育所運営費	5/10	124,332	59,107	29,553	32,613
国民年金事務費	1/10	20,482	13,659	13,659	6,823

主なものとして表-1のようになります。

●町民1人当たりの納めたお金●

64,002円

町民税(個人)	固定資産税	町たばこ消費税	電気税	その他(入湯税等)
				
26,410円	23,217円	4,540円	2,717円	7,118円

●町民1人当たりに使ったお金●

384,758円

教育費	土木費	公債費	農林業費	総務費
				
37,613円	73,936円	74,023円	48,236円	42,363円
民生費	消防費	衛生費	商工費	その他(議会費等)
				
51,319円	15,323円	16,624円	9,452円	15,869円

住みよい町づくりに

- 公営住宅建設事業 99,912千円
- 曙(あけぼの)通街路事業 68,653千円
- 明野ヶ丘公園整備事業 36,778千円
- 札内高台線道路改良事業 60,000千円

豊かな町づくりに

- 道営土地改良事業負担金 323,890千円
- 農村総合整備モデル事業 133,033千円
- 新地域農業生産総合振興対策事業 45,126千円
- 畜産総合対策事業 34,766千円

も、支出総額に占める投資的経費の割合が高いほど望ましいのです。六十一年度に町民の生活向上を図るために行われた主な事業は、次のとおりです。

次のとおりです。

次のとおりです。

次のとおりです。

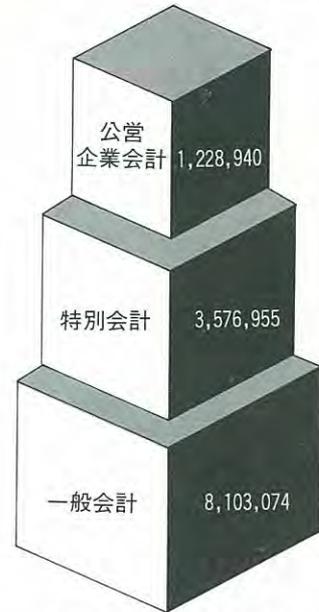
歳出

図一三の歳出をご覧下さい。目的別に使用道を見ると、公債費が一九・二%でトップ、続いて土木費が一九・二%、以下民生費一三・三%、農林業費一二・五%、総務費一一%、教育費九・

八%となっています。借金の返済に充てるお金を「公債費」といいますが、歳出の一九・二%、十六億六千八百円を返済に充てたように、毎年計画的に返済をしています。性質別に分けると、消費的経

●図-2 借入金の現在高

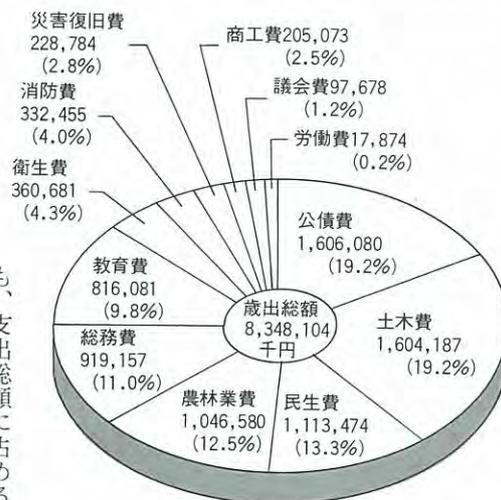
(単位:千円)



総額は129億896万9千円

●図-3 歳出(目的別決算内訳)

(単位:千円)



費(人件費、物件費、補助費など)が六八・三%を占め、投資的経費

が三一・七%となっています。行政水準の向上や経済的影響から

明日への町づくりに

- 糠内小学校プール建設事業 51,829千円
- 古舞小学校増築事業 23,168千円
- 教員住宅(共済)購入事業 60,931千円
- ソフトボール場照明施設設置事業 21,850千円

あたたかい町づくりに

- 札内北コミュニティセンター建設事業 165,852千円
- 文京町近隣センター建設事業 42,295千円
- 札内老人健康増進センター建設事業 45,393千円
- 札内北児童館建設事業 53,317千円

基金は

町の貯金です

基金は、皆さんの家庭の貯金と同じです。特定の目的のためにお金を積み立て「学校を建てる」「土地を取得する」「町の台所が苦しい」ときなどに使われます。

◆財政調整基金

町財政の長期にわたる健全な運営と、年度間の財政変動に備えて積み立てられ、町の台所が苦しくなると使われます。

◆教育施設建設基金

学校を建築する場合に使われます。

◆土地開発基金

公共の利益のために取得する必要がある土地を、購入するために使われます。

◆減債基金

町の借金を償還するために充てられます。

◆奨学資金積立基金

基金から生ずる収益を、奨学資金に充てられます。

◆国民健康保険基金

保険給付に要する費用が不足を

●基金の現在高

(単位：千円)

総額は10億2,098万円	
基金名	現在高
財政調整基金	683,000
教育施設建設基金	8,000
土地開発基金	149,000
減債基金	13,000
奨学資金積立基金	10,244
国民健康保険基金	128,522
その他	29,184

生じた場合に充てられます。

決算から見た

財政の健康診断

財政の健康状態を計る物差しに、「財政力指数」と「経常収支比率」、「公債費比率」の三つがあります。この物差しで、幕別町の財政を見てみましょう。

◇財政力指数

自治体の自主性の尺度で、指数が高いほど自まかないできるお金が多いことを意味します。本町の場合は一・一六％で、管内三番目に高い指数です。

◇経常収支比率

自由に使える財源がどのくらいあるかで、財政の硬直化がどうかを判断します。比率が低いほど自由になるお金が多く、硬直化して

いないことを表します。本町は七九・七％で管内では低い方から十番目です。

◇公債費比率

借金の返済に充てられるお金の、比率が高くなると財政運用が苦しくなり、借金で首が回らない状態になります。

本町は一九・八％で管内では低い方から九番目です。

昭和62年度予算

上半期執行状況

— 9月30日現在

昭和六十二年上半期は、景気の停滞の中で、適切な町民サービスを確保するため、予算の完全執行に努めています。

九月末現在までの執行状況を見ると歳入では四三・七％(昭和六十二年同期四三％)、歳出では、四二・七％(昭和六十一年度同期四

二・一％)と、いずれも昨年度を上回る執行率となっております。なお、来年三月三十一日までに百％執行の見込みです。

一般会計

(単位：千円)

科目	予算現額	収入済額	執行率%
地方交付税	2,927,051	2,174,042	74.3
町税	1,382,613	737,058	53.3
国庫支出金	501,835	68,693	13.7
町債	837,900	—	—
諸収入	695,894	231,414	33.3
分担金・負担金	372,914	26,584	7.1
道支出金	647,559	45,370	7.0
譲与税・交付金	255,600	80,335	31.4
使用料・手数料	167,853	77,179	46.0
その他	421,648	149,221	35.4
合計	8,210,867	3,589,896	43.7

科目	予算現額	支出済額	執行率%
木費	1,535,955	780,594	50.8
農林業費	1,500,806	337,141	22.5
公債	1,117,843	521,707	46.7
民生費	1,046,992	483,024	46.1
教育費	1,029,431	380,319	36.9
議会・総務費	952,210	484,014	50.8
衛生費	344,799	178,123	51.7
消防費	332,006	149,736	45.1
商工費	280,622	162,645	58.0
労働費	10,575	3,833	36.2
その他	59,628	21,812	36.6
合計	8,210,867	3,502,948	42.7

秋の叙勲

道路機械整備一筋

勲七等青色桐葉章

吉田 孝さん(六一)

旭町二四



「ずっと縁の下の力持ち的な仕事をやってきたので…。まさかもらえると思っていなかったのですね」と受章の喜

びを語る吉田さん。昭和十七年に土木現業所別事業所(現・帯広開発建設部池田事業所)勤務を皮切

りに統内機械工場製材部を経て三十三年から帯広開発建設部札内整備工場に。主に道路除雪のブルドーザーなどの機械の整備を担当してきました。六十年からは主任安全指導員となり、職場の安全のお目付け役として活躍し、今年の三月に退職しました。現在は奥さんのみつ子さん(五九)と二人暮らしで、十一月二十七日に東京で行われた授章式には夫婦そろって出席しました。

町行政改革大綱まとまる

最小の経費で最大の効果を

除々に改革を推進

地方自治体を取りまく社会経済情勢や財政事情は極めて厳しい状況になっています。こうした中で町では、多様化する住民のニーズに対応し適切なサービスを提供するためには、行政の簡素化、効率化を図ることが緊急の課題であるとして、さらに強力な行政改革の推進を検討してきましたが、このほどその大綱がまとまりました。

と比べ高率なので、引き下げを行う。

●就学援助制度／現在の認定基準のうち所得基準については法律の趣旨を超えていると判断するの
で、設定基準の見直しを行う。

●老人医療費助成、乳幼児医療費助成／国や道の基準を超える措置を行っているので、町単独措置の見直しを検討する。

●補助金の整理・合理化

目的、内容、効果、決算の状況など項目ごとに十分な審査を行い、補助金の整理、統合、廃止等の合理化を行う。

●特定受益者負担金の見直し

●ゴミ収集／一般家庭の廃棄物収集については収集地域の均衡等から若干の有料化を図るべきとしながらも、管内他市町村との均衡上、当面自己処理の徹底を促し、有料化については引き続き検討を行う。

●上・下水道使用料／受益者負担の原則に立ちながらも、過大な負担とならないよう普及率の向上等に努力し、使用料等審議会の意

向にのっとり改定を行う。

●保育所保育料／保育単価の基礎となる保育所収容定員の見直しを含め、三歳未満児、三歳以上児の保育料全体について見直しを行う。

●財政の健全化／歳入では町税の確保、徴収率の向上、未利用財産の処分等により増収に努める。歳出では人件費、物件費、補助費等経常経費の削減を図るなど、歳入歳出全般の見直しを進める。

●民間委託

●町有車両／災害等緊急時に対応できる最小限度の機動力を保有し、その他については車両の更新時、職員の人事計画を考慮しながら必要に応じて委託を行う。

●学校等公共施設の管理委託／学校の管理については、用務員の人事計画を配慮しながら順次委託に切り替える。社会教育施設についても、利用者へのサービス低下にならぬよう配慮しながら、順次委託に切り替えていく。

●会館等公共施設の管理運営の合理化

●近隣センターの自主管理移行／施設の営繕は町管理としても、光熱水費等利用者の使用上の経費については、利用者あるいは地域

の負担とすべきであり、全面的な自主管理移行を検討する。

●組織機構の簡素合理化

●庁内組織／最少の経費で最大の効果を上げる行政運営を基本とし、行政組織及び運営の合理化とその規模の適正化に努力する。また、職員の資質の向上に努め、真に町民のためのサービス機関としての機能を十分に発揮し、新たな行政需要に効率的に対応できる体制づくりを図る。

●各種審議会・附属機関／設置目的の達成されたもの、類似しているもの、委員の構成等を調査し、見直しを図る。

●給与の適正化

昭和六十年十一月に人事院勧告に伴う国家公務員の給与制度の改正が行われたが、本町においてもこれに合わせて給与制度を改正し、また、六十一年度には運用昇給短縮制度を廃止し給与の適正化に努めている。今後においても、国の制度基準に沿うように努める。

●定員管理の適正化

職員数の抑制については、昭和六十一年度までに十九名の減員を行った。今後においても、行政需要の動向と住民サービスの確保を考慮しつつ、適正な人事管理のもとに改善を図る。

●OA化等事務改革の推進

今年一月に第一次導入として住民情報システムを導入したが、引き続き事務の電算化の検討を行う。

●事務事業の整理合理化
●納税前納報償金／町民税、固定資産税については、将来的に廃止の方向で検討し、当面は市中金利の動向を考慮しながら交付率の引き下げを行う。国民健康保険税については廃止を検討する。

●納税奨励金／交付率が他町村



全道各地の半血、重種系の優秀な馬を一堂に集めた第1回全道繁殖・肥育馬共進会が11月12日、相川の十勝中央家畜市場で開かれました。大会には全道から130頭が出品され、体形や歩行などの審査を受け、全道一を競いました。

百三十頭が全道一を競う

昭和五十三年に白人小学校から分離独立して開校した札内南小学校（草野敏行校長・児童数六百五十人）の開校十周年記念式典が十一月八日、同校体育館で行われました。式典には在校生、歴代教職員、PTAらが出席し、十年の節目を祝い合いました。



札内南小学校が開校10周年



ケント・ギルバート氏が講演



弁護士でタレントのケント・ギルバートさんの文化講演会が十一月十五日、町民会館で開かれました。ケントさんは十年間の日本での生活体験などを流ちょうな日本語で語り、詰めかけた約八百人の聴衆の共感と笑いを誘っていました。

ふるさと館でサケの卵の拾い上げ作業が11月16日に行われました。この日は中里小学校の全校児童10人も参加し、水槽から出された砂利の中からサケの卵1粒1粒を丁寧に拾い上げていました。

ふ化を楽しみにサケの卵拾い



幕別 ⑨ 続. ものがたり

大正時代に音楽会、演劇、運動会等の東京の文化を直接幕別に持ち込み、当時は珍しいアコーディオン、ピアノ等の楽器を持ち込んだのも新田ベニヤとその従業員であった。演劇活動はテレビ、ラジオのない時代を背景に会社内の活動にとどまらず、他地区の祭りなどにも顔を出し、それとともに市街地の人々の間にも演劇を始める人々が現れた。

一部にはこう記されていた。「北海道労働文化賞は従来とかく炭鉱のような組織と力の大きな労働団体の中で行われる文化活動にのみ与えられました。新田ベニヤのように余り知られていないへき地において、音楽といえはラジオ、レコードのみと考える人たちに種々の楽器を奏して低俗に墮さず、良い音楽を知らせていくことも労働文化の向上に重要な要素である……」

終戦後は会社に労働組合ができた。具体的には卓球部、野球部、庭球部、相撲部、音楽部、演劇部、文芸部、詩吟部、尺八部、音楽部、修養部の十一部があった。特に野球部、庭球部、音楽部、演劇部の活躍がめざましかった。野球部は全道大会の決勝に進み、会社の機関紙（極光）にも社の名声を高く広げたと記されている。

新田ベニヤの文化活動 音楽部は北海道労働文化賞を受賞

音楽部（軽音楽）は北海道労働文化賞受賞という栄誉に輝いた。

この文化賞に關して当時の中島町長が知事あてに出した推薦状の

新田ベニヤといえは、ベニヤ板とパークゴルフのスティックぐらいしか知られていないが、主な製品としてトムソン（レーザー打ち抜き合板）、LNG（液化天然ガス貯蔵庫用合板）、卓球台、バスケットボード、ドラム用合板、フロアー（テクノウッド人工木合板）、レントゲン（CTスキャン用合板）、難燃合板、添器合板など客層のニーズにあった製品を毎日、東京、名古屋、大阪、札幌などの大消費地へ出荷している。

（記・ふるさと館郷土史部会）
佐藤 正弘

広報クイズ⑨

500円の図書券が当たる

三つの答えの中から正しいものを選び、はがき書いてお送りください。

- 今年11月1日現在の幕別の人口は
 (A)20,705人 (B)21,705人 (C)22,705人
- 昭和61年度決算でまちづくりに使ったお金は町民1人当たり
 (A)約30万円 (B)約35万円 (C)約38万円
- 町の財政で次のうち依存財源でないものは
 (A)町税 (B)地方交付税 (C)町債
- 11月8日に開校10周年記念式典を行った小学校は
 (A)札内北 (B)白人 (C)札内南
- 11月21日に第4回東京幕別会総会が開かれましたが、出席した会員の数は
 (A)約50人 (B)約100人 (C)約150人

【応募方法】

★はがきに答えの記号(例①-(A))、住所、氏名、年齢と、ご意見ご要望、広報を読んで一言などを書き添えてください。

全問正解の人の中から抽選で5人に500円の図書券をプレゼントします。応募は1人1通に限ります。ご意見などのほか、イラスト、漫画、詩、コントなども大歓迎です。イラストや漫画は黒色で濃くかいてください。

★あて先☎089-06 幕別町本町130 役場内・広報係

★締め切り=12月15日(15日の消印有効)
 ★前回の正解は、①-(B)、②-(A)、③-(A)、④-(C)、⑤-(B)でした。応募56通で全問正解が52通。抽選で次の5人が当選しました。

(敬称略)

渡辺亜紗美(9・桂町) 犬飼しゅんすけ(7・春日町) 久保竹子(35・古舞) 池上幸一(66・緑町) 神野博子(35・相川)



みんなのページ



答
 ①-B ②-A ③-A
 ④-C ⑤-B



答
 ①-B ②-A ③-A
 ④-C ⑤-B

ほんの一言

札 内に来て三年目です。素晴らしい環境の中有意義に過ごしています。特に発祥の地にもなっております。「パークゴルフ」手軽でだれにでも楽しめてストレス解消に最高。そして温水プール。水泳は全身運動で健康にはもちろん美容にも最高ですね。さて、その効果はいかに?... ↓桂町 伊藤礼子(一)

広 報まくべつを毎月楽しみに読ませていただいています。特に幕別ものがたりを楽しんでいます。高山脈が真白になり、一日一日寒くなってきました。図書券を当てて手芸の本を買って、子供たちに手編みのセーターでも作ってやりたいのですが... ↓桜町 小野寺美栄子(三)

も今シーズンは終了しました。来シーズンは四月の末にオープンします。楽しみにしててください。 ↓西町 阿彦里枝(二)

😊:図書券期待してまっています。
 ↓桜町 東野美和(二)
 😊:今、私は卓球に力を入れていきます。練習が楽しくなるように、いい成績が出るようがんばらね。 ↓西町 阿彦里枝(二)
 😊:いつもいつも次の広報「まくべつ」がまちどおしいです。一番先に見る所はもちろん「クイズ」のページだよ。 ↓明野 喜多 慎(二)
 😊:はじめて出したので何を書いているのかわからないけど、図書券が当たりますように。 ↓桂町 齊藤真帆(二)
 😊:図書券が当たりますように。当たりましたら子供の本を買ってあげたいと思います。 ↓新町 坂美恵子(二)
 😊:誕生、結婚、死亡の情報を広報に載せた方がいいと思いますが。 ↓西町 桜田裕子(三)



たくさんの人出でにぎわったふれあい広場

広がった思いやりの心 第6回社会福祉ふれあい広場

「あたたかな思いやりの心で共に生きる地域社会づくりを」をテーマに町社会福祉協議会(長尾玉市長)の主催により第六回幕別町社会福祉ふれあい広場が十一月十五日、町民会館で開かれました。

開会式に続いて行われた芸能発表では、札内東中吹奏楽部の演奏や日本津軽三味線木田流家元の木田林松栄さんの演奏会などが行われ詰めかけた人々を魅了しました。また、施設作品展示即売会、バザー、福祉機器の展示などのほか、障害を持った人たちの語らいの場も設けられ、会場を訪れた千人以上の人たちの間に思いやりの心が広がりました。

ふるさととの味を満喫 東京と札幌で幕別会総会

東京幕別会（野本弘会長）の第
四回総会が十一月二十一日に、ま
た、札幌幕別会（倉持照三郎会長）
の第三回総会が十月三十日にそれ
ぞれ開かれました。

東京幕別会総会は東京・千代田
区の番町グリーンパレスで開かれ、
東京近郊の会員三百人のうち約百
人が出席しました。また、地元か
らは林町長、前川町議会副議長、

木川商工会長らが出席しました。

総会では、昨年の開基九十年記
念事業の「つながったデー」の記録
映画の上映に続いて野本会長が「幕
別町が順調に発展していると聞いて
安心していきます」とあいさつ。

林町長は河川敷ゴルフ場の造成や
パークゴルフ、サーモンワールド
など町づくりの様子を報告し「みな
さんもそれぞれの立場で幕別町発



なごやかに交流を深めた懇親会（東京幕別会）

33

子供たちの目の輝きを大切に

ひと

表彰を長
表功績を
績別小校
功績を長
道教育を
受ける幕
やまざき
山崎直治
（緑町38・60歳）

北海道の教育の振興に功績のあ
った方を表彰する昭和六十二年
北海道教育功績者表彰に幕別小
学校長の山崎直治さんが選ばれ
ました。今年の受賞者は全道で十
人で、十勝管内からは山崎さんた
一人でした。

展のために応援をお願いします」
と協力を呼びかけました。また、
が決まってから全道からお祝いの
電話や手紙をいただき、受賞の重
みを感じています」

『教壇に立ったのが昭和二十年で
すからもう四十年を超えているん
ですね。来年三月で定年退職なん
です。子供たちと接する機会がな
い毎日なんて想像がつきませんね。
子供というのは素晴らしいですよ。
みんな目が輝いているんです。そ
の目をさらに輝かせるのが家庭で
あり、地域であり、学校なんです。
そして子供たちは教師にとって財
産なんです。いつまでも見守って
いたいですね』

『まさか頂けるとは思って
いませんでしたのでとまど
っています。複式校での教
育実践が評価されたんでし
ょうが、私が頂いたので
なく、今までにお世話にな
った地域のみなさんや先生、
そして子供たちが受賞した
ものと思っています。受賞

昭和二年六月二十日石川県生ま
れ。十勝小中学校校長会会長。

人事異動

（内は前職）

- ◆部長職 ▽議会事務局局長（総務部総務課長）逢坂勝己
- ◆課長職 ▽総務部総務課長（教育委員会学校教育課総務係長）岡田和夫 ▽総務部民生課長兼児童係長（民生課長）小野寺尚真
- ◆係長職 ▽総務部民生課福祉係長（出納係長）小野典昭 ▽出納

係長（総務部民生課児童係長）熊谷直則 ▽教育委員会学校教育課総務係長（総務部民生課福祉係長）金子隆司

「寄付ありがとうございました」

- 町へ：
▽小尾恵子さん（緑町）から十万円
▽山口末子さん（緑町）から十五万円
- 社会福祉協議会へ：
▽宗岡芳一さん（中央町）から十万円
▽タンポポサークルから一万円
▽水川春男さん（寿町）から三万円
▽匿名の方二人から五万円
▽杉本トメさん（緑町）から三万円
▽土井薫さん（旭町）から五万円

- 老人クラブへ：
▽宗岡芳一さん（中央町）から札内寿会老人クラブへ三万円
▽田中文夫さん（猿別）から西猿別老人クラブへ一万円
▽小松直次郎さん（宝町）から旭町老友会へ一万円
▽鎌田功さん（相川）から相川北一心会老人クラブへ一万円
▽水川春男さん（寿町）から中央老人クラブへ一万円
▽土井薫さん（旭町）から旭町老人クラブへ三万円

- その他：
▽身体障害者福祉協会十勝支部幕別分会へ榎本正子さん（幸町）から三十万円、宗岡芳一さん（中央町）から三万円
▽阿部政男さん（幸町）から特別養護老人ホーム札内寮へ車イス一台